ASAKUSA
DAN
PRESS 119
第65号
2024年
2月20日発行
協力
浅草消防署
編集発行
浅草消防団
TEL
03-3847-0119

令和六年　浅草消防団始式

わが町を
わが手で守る
消防団

東京の
消防団の
スローガン

新年挨拶

浅草消防団長　田島　眞

年も明け、良い年になります様にとの思いの最中に、能登半島地震が発生し、被災者の生活再建や地域産業の復旧に深刻な影響を与えております。

私共の地域でも東京直下型の地震が危惧されており、有事に備えて我々消防団員は、署員と地域の皆様と団結し協力して減災を目指し、安全安心な町づくりに対処していかなくてはと思っております。

本年、三田村副団長と共に、入団五十年の表彰を受賞しました。よく永くやってこられたと思います。ひとえに家族や団員の協力があればこそです。能登の地域が早く安心して生活ができます様に、並びに皆様方のご健康を祈念しまして、年頭のご挨拶といたします。

新年を迎えて

浅草消防署長　三浦　弘直

皆様、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

まず、元日早々に発生した令和六年能登半島地震で、犠牲になられた多くの方々に哀悼の意を表しますとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

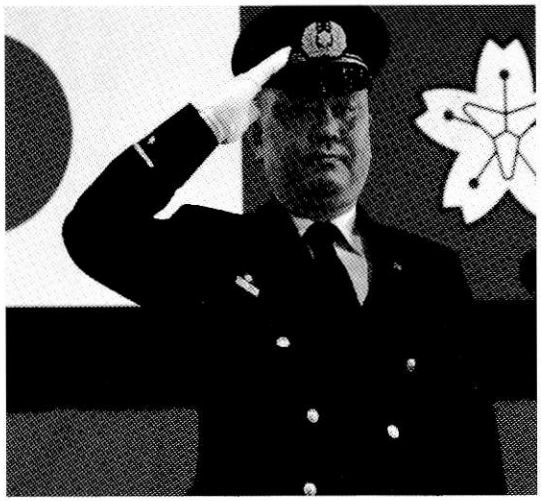
さて、日頃から自分達の町に住む人たちを災害から守りたいという熱い情熱を原動力に、地道に活動を実践していただいている浅草消防団の皆様に改めて感謝申し上げます。

昨年は、関東大震災から百年という節目の年でもありました。

改めて、その貴重な教訓を継承し、今後発生が予想される首都直下地震をはじめ震災等から都民の生命・身体・財産を守るため、消防として果たすべき責務と使命を再確認する年となりました。

また近年は、自然災害が激甚化する傾向にあることから、浅草消防署としましても引き続き消防団と力を合わせ、各種訓練、防火防災施策を推進し、災害への備えを万全にして参ります。

消防団の皆様には、引き続き田島団長を中心として、消防署との連携を密に地域の安全確保にご尽力いただきますようお願いいたします。



令和六年一月十四日　浅草消防団　新入団員

新入団員代表挨拶

第四分団　金元　祐紹

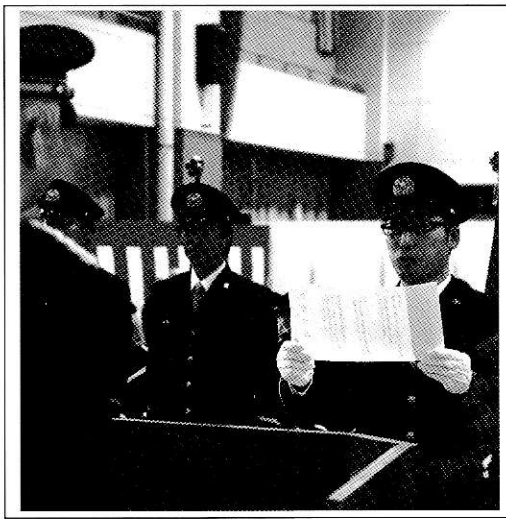
今年は新年早々、石川県の能登地方を中心とした大地震（能登半島地震）が起こり多くの方が被災しました。私の実家もその一つであり、両親は

いまだ先行きが見通せない不安な生活をおくっております。

そんな中、執り行われました団始式において、新人団員代表というお役をいただきましたこと大変光栄に存じます。

私は入団してまだ数ヶ月ではありますが、警戒や操法大会訓練（支援隊）、救命講習など一通りの訓練や活動に参加させていただくことで、地域に密着した消防活動の重要さを身を以て知ることができました。また、そんな自分が今度は大きな地震により被災する立場になるとは想像すらしておりませんでしたが、現場では今尚多くの方の命を救う活動が行われており、私達が行っている訓練等は実際の現場でも活きることを再認識することができました。

そんな気持ちの中でいただいた決意表明の原稿を、何度も何度も読み込むことで、この文章はまさに今の自分の気持ちそのものであるということに気が付きました。



本番当日、徐々に高まるその気持ちを落ち着かせ平常心を装っていましたが、厳粛な式の中で自分の出番が近づくにつれ、心の奥底から湧き上がった想いを抑えることはできず、ありのままの自分の気持ちを開放することを自然と選択していました。その想いが声高らかな宣言へとつながったと感じております。そして、決意表明の中に書かれておりました「自分たちの町は自分たちで守る」ということを成すために、これからもっともっと諸先輩方にご指導を仰ぎ、より一層精進を重ね、消防活動を全力で邁進していく所存であります。

こういった活動が、両親たちのように不安な想いをする人たちの何か力につながれば幸いです。

新入団員紹介　※順不同

質問内容
①普段のお仕事②特技や趣味、年齢
③入団した理由等

第一分団
佐々木（ささき）　康太郎（こうたろう）

①大学では法学部に所属しており、主に知的財産法について学んでいます。
②趣味はバスケットボールで中学の頃から続けています。
③大学の友人の誘いというのが大きかったのですが、実際私自身も一人暮らしで住み始めた地域とのつながりが欲しかったことも理由の一つです。このような理由から浅草消防団の入団を決意しました。

第二分団
村上（むらかみ）　一光（いっこう）

①蔵前に撮影スタジオを構え、商品写真を中心に子供の玩具や人物を撮ってます。
②クルージング、釣り。ラーメン。中二からエレキベースを弾いています。現四五歳
③蔵前にスタジオを構えて九年になり、地域貢献も含め防災活動したかったからです。

第二分団
渡邉（わたなべ）　宜照（よしてる）

①リボンテープ、組紐の製造卸しをしている会社に勤めてます。主にラッピング向けの資材を加工して販売をしています。
②趣味はジョギングとスポーツ観戦など。年齢は四九歳です。
③以前より救命処置について学びたいと思っていたところ同じ地域に住む消防団の方からお声がけいただき入団を決意しました。

第三分団

唐　啓祐（とう　けいゆう）

①総合人材会社に勤務。企業の人材育成や組織活性の商品・サービスを提供する部門で、デジタルマーケティングの責任者をしています。

②趣味はサイクリング・料理・プログラミング（WebFront／python）など。年齢は三十代です。

③仕事を通じ、CSR活動に参画や上位役職者との交流が増えるなか、地域貢献に興味がわき、消防団の紹介を受け入団致しました。

第三分団

伊藤　恵美子（いとう　えみこ）

①ラグジュアリーブランド

②K-popの推し活です。

③大好きな地元の地域に貢献できたらと思いました。

第三分団

芦刈　ゆみ（あしかり）

①浅草の病院やスポーツの世界大会などで医師として働いています。イベント救護や救命などにも関わりたいです。

②趣味は伝統芸能（歌舞伎、三味線など）、武術（中国拳法など）、他たくさん。

③時代劇や歌舞伎によく出てくる火消や浅草の地に憧れがあり、地域に貢献したくて入団しました。

第三分団

馬淵　紫郎（まぶち　しろう）

①船乗り

②サイクリング

③地域へ貢献したい気持ちと様々な行事を通じて地域住民との交流を深めたいとの思いから入団を決意しました。

第四分団

今堀　皇（いまほり　こう）

①東本願寺　僧侶

②趣味は散歩、旅行、剣道です。

③東本願寺で行われた文化財防火デーの演習後にお誘いを受けて入団しました。これを機に地域の方とも触れ合い、歴史ある町に貢献していきたいです。

第四分団

﨑田　亮慈（さきた　りょうじ）

①東本願寺　僧侶

②趣味野球

③歴史のある浅草という町の安全を守りたく思い入団しました。

第四分団

白川　隆静（しらかわ　りゅうせい）

①東本願寺　僧侶

②趣味はサッカー、スノーボード、茶道、花道です。年齢は三十歳です。

③自坊の門徒に消防団の方々がいらっしゃり、戻ってからも消防団に入る予定なので入団しました。

第四分団

金元　祐紹（のりもと　ゆうしょう）

①東本願寺　僧侶

②趣味は水泳とバスケットボールです。筋トレも大好きです。時々、すみだリバーサイドをランニングしています。

③東本願寺境内で行われた文化財防火デーの演習後に、消防署から勧誘を受け入団しました。

令和六年　表彰

『消防総監賞』
○優良表彰
浅草消防団
○五十年勤続功労表彰
団本部　団長　田島　眞
団本部　副団長　三田村　信吉
○功績表彰
団本部　分団長　髙橋　通
○優良表彰
第二分団　団員　大河原　弘史
第二分団　団員　神部　由樹
第三分団　団員　古澤　幹寛
第三分団　団員　河上　実樹
○救命講習
団本部　班長　河野　美佐子

『防災部長賞』
○防災訓練
第一分団　副分団長　水田　茂則
第四分団　班長　雨宮　哲
○救命講習
第一分団　副分団長　石村　宣弘
第四分団　班長　雨宮　哲

『方面本部長賞』
○防災訓練
団本部　大規模団員　志村　淳子
第一分団　部長　横山　清孝
第二分団　分団長　光岡　英明
○救命講習
団本部　副団長　桝田　賢二
第一分団　団員　大和　めぐみ
第二分団　分団長　光岡　英明
第三分団　副分団長　竹村　佳昭
第三分団　部長　沼　邦彦

○入団促進
第二分団　分団長　光岡　英明

『消防署長賞』
○成績優秀分団
第二分団　分団長　光岡　英明
○成績優秀団員
団本部　班長　河野　美佐子
第一分団　部長　藤倉　照章
第一分団　班長　奥村　麻季
第二分団　副分団長　浅見　隆行
第二分団　団員　吉田　悦子
第三分団　副分団長　竹村　佳昭
第四分団　班長　雨宮　哲
○防災訓練
第一分団　分団長　萬　勝巳
第一分団　班長　横山　愛
第一分団　班長　重岡　卓
第二分団　副分団長　松下　雄一郎
第二分団　団員　大河原　弘史
第三分団　団員　中嶋　恵
第四分団　副分団長　大目　加奈子
第四分団　部長　齋藤　充広
○救命講習
団本部　大規模団員　志村　淳子
第一分団　副分団長　水田　茂則

『台東区長賞』
○四十年勤続
団本部　副団長　武田　尚之
団本部　大規模団員　小笠原　金平
○三五年勤続
団本部　副団長　桝田　賢二
○二五年勤続
第一分団　副分団長　佐藤　充弘
○一五年勤続
第三分団　部長　寺澤　仁志
第三分団　団員　木村　嘉宏
○十年勤続
第二分団　班長　伊藤　岳
○五年勤続優良賞
第一分団　班長　大橋　貞夫
第二分団　団員　神部　由樹
第二分団　団員　大河原　弘史
第三分団　団員　河上　実樹

『台東区長感謝状』
○台東区長家族感謝状
渡邊　さゆり様（第二分団　渡邊雄太班長）
伊藤　恵　様（第二分団　伊藤　岳班長）

『消防署長・消防団長感謝状』
○家族感謝状
寺澤　美千代様（第三分団　寺澤仁志部長）

『消防団長表彰』
○入団促進功労
第三分団　副分団長　竹村　佳昭
○東京都消防操法大会出場功労
第一分団　部長　藤倉　照章
第一分団　部長　針山　欣之
第一分団　団員　水田　吉紀
第二分団　部長　黒田　陣弥
第二分団　班長　伊藤　岳
第二分団　団員　岡野　多加男
第二分団　団員　木下　真希子
第二分団　団員　梅津　忠和
第三分団　副分団長　竹村　佳昭
第三分団　団員　中嶋　恵
第四分団　班長　雨宮　哲

『消防団長感謝状』
○消防団活動協力町会及び事業所
菊屋橋町会

一緒にわが街を守りませんか？

＊消防団員＊募集中＊

＜　入団資格　＞
○心身ともに健康で、年齢18歳以上の方
○消防団の区域内に居住や、勤務する方

【問合せ先】
浅草消防団
（浅草消防署内）
電話 03（3847）0119

編集後記

第四分団　金元　祐紹

「鬼は外、福は内」と、外では子どもたちが鬼に向かって豆をなげている。そんな節分は元々、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指す言葉でした。しかし、いつしか立春の前日のみをそう呼ぶようになったようです。「みなが健康に過ごせるように」と今年も願うばかりです。

ダンプレス　編集委員

☆委員長　杉山　年昭
☆副委員長　西井　敏彦
☆委　員
団本部　河野　美佐子
第一分団　重岡　卓　・白川　貴康
第二分団　渡邊　雄太・黒田　陣弥
第三分団　杉山　寛人・沼　邦彦
第四分団　齋藤　充広・金元　祐紹
編集構成　竹村　佳昭